

2020年7月8日

新型コロナウイルス感染症の病院経営への影響 －医師会病院の場合－

公益社団法人 日本医師会

1. 方法	3
2. 集計・分析結果	4
2.1. 回答者の属性	4
2.2. 総件数・総日数・総点数	6
2.3. 初診料、再診料、電話等再診	10
2.4. 損益の状況	14
2.4.1. 全体	14
2.4.2. 新型コロナウイルス感染症入院患者の有無別	18
2.4.3. 新型コロナウイルス感染症患者対応病床の有無別	22
3. まとめ	28
資料 損益計算書	30

1 1. 方法

2

3 本調査は、新型コロナウイルス感染症対応下における医師会病院の経営状
4 況を把握するために実施したものである。医師会病院とは、医師会が設置す
5 るもののほか、自治体その他が開設し医師会が運営を受託する病院等を含む。

6 2020年6月5日に、日本医師会による「医師会共同利用施設設立状況等
7 調査結果（2019年4月1日現在）」をもとに74医師会病院に対して調査依
8 頼文書を発出したが、2019年4月1日以降、統廃合や入院を中止した病院
9 があり、2020年6月1日現在稼働している病院は72病院である。

10 日本医師会ホームページから調査票をダウンロードし、メールで回答する
11 方式で、同年7月3日まで回答を受け付けた。

12

13 主な調査項目は以下のとおりである。

- 14 ● 地域医療支援病院の承認状況
- 15 ● 感染症指定医療機関の指定状況
- 16 ● 新型コロナウイルス感染症入院患者数、新型コロナウイルス感染症患
17 者のための病床数
- 18 ● 総件数・総実日数・総点数
- 19 ● 初診料および再診料等の算定回数
- 20 ● 損益計算書

21 月次試算表ベースでの回答を可としているため、現金主義の病院、単月で
22 は減価償却費の計上がない病院ほか、一部の数字が確定していない病院が
23 あり、内訳の合計や差し引きに若干の差がある場合がある。

24

25 なお本調査については、2020年6月9日に、以下のとおり中間報告を公
26 表している。

27 「新型コロナウイルス感染症対応下での医業経営状況等アンケート調
28 査（2020年3～4月分）」公益社団法人日本医師会

29 http://dl.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20200610_6.pdf

30

31

1 2. 集計・分析結果

2

3 2.1. 回答者の属性

4

5 回答数は 72 病院中 58 病院であり、回答率は 80.6%であった。有効回答
6 は質問項目ごとに異なるため、以下その都度記載する。

7 回答病院のうち、地域医療支援病院は 35 病院 (60.3%)、第一種感染症指
8 定病院はなし、第二種感染症指定病院 7 病院 (12.1%) であった (表 2.1.1)。

9

10 病床規模は、許可病床数 200.3 床、稼働病床 191.7 床であった。許可病床
11 に対する稼働病床の割合は 95.7%である¹。なお、介護医療院の病床は療養
12 病床に含めている。

13

14 新型コロナウイルス感染症入院患者数「あり」は 14 病院 (24.1%) で、「あ
15 り」の病院における月平均入院患者数は 6.4 人 (最大は 2020 年 4 月に 76 人
16 の入院患者 (東京都)) であった。

17 新型コロナウイルス感染症患者のための病床数「あり」は 28 病院 (48.3%)
18 であり、半数近くの病院が病床を確保していた。「あり」の病院は、1 施設当
19 たり許可病床 230.9 床のうち 8.5 床 (3.7%) を確保していた。

20

21 対応病床「あり」の病院のうち、入院患者「あり」の病院は 46.4%で、残
22 りは、確保病床はあるが入院患者はなく診療報酬収入がない状態にある。

23

24

25

26

¹ 病床利用率のことではない。厚生労働省「医療施設調査」の定義では、
病床利用率＝月間在院患者延数の 1 月～12 月の合計÷(月間日数×月末病床数) の 1 月～12 月の合
計×100 (%)

月末病床利用率＝月末在院患者数÷月末病床数×100 (%)

1 表 2.1.1 基本情報および新型コロナウイルス感染症への対応状況

地域医療支援病院の承認および感染症指定医療機関の指定状況

	回答数	比率(%)
回答総数	58	—
(再掲)地域医療支援病院	35	60.3
(再掲)第一種感染症指定医療機関	0	0.0
(再掲)第二種感染症指定医療機関※	7	12.1

※全国の第二種感染症指定医療機関(感染症病床を有する指定医療機関)は2019年4月41日現在351医療

病床数

	回答数	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床※	一般病床	計
許可病床	58	0.6	0.7	0.0	34.9	164.1	200.3
稼働病床	58	0.5	1.3	0.0	31.7	158.2	191.7

※介護医療院を含む

新型コロナウイルス感染症入院患者および病床の状況(2020年3月~5月)

	回答数		構成比(%)	
	あり	なし	あり	なし
新型コロナウイルス感染症入院患者数	14	44	24.1	75.9
新型コロナウイルス感染症患者のための病床数	28	30	48.3	51.7

新型コロナウイルス感染症入院患者ありの病院 (人/月)

	回答数	2020年3月	2020年4月	2020年5月	平均
新型コロナウイルス感染症入院患者数	14	2.8	11.9	4.4	6.4

新型コロナウイルス感染症患者のための病床ありの病院 (床)

	回答数	2020年3月	2020年4月	2020年5月	平均
病床「あり」の病院の病床の平均 ①	28	5.3	9.7	10.4	8.5
		許可病床数 ②			230.9
		②÷①(%)			3.7

新型コロナウイルス感染症対応病床の有無と入院の有無

		新型コロナウイルス感染症対応入院患者			
		病院数		構成比(%)	
		あり	なし	あり	なし
新型コロナウイルス感染症対応病床	あり	13	15	46.4	53.6
	なし	1	29	3.3	96.7

2
3
4
5

1 2.2. 総件数・総日数・総点数

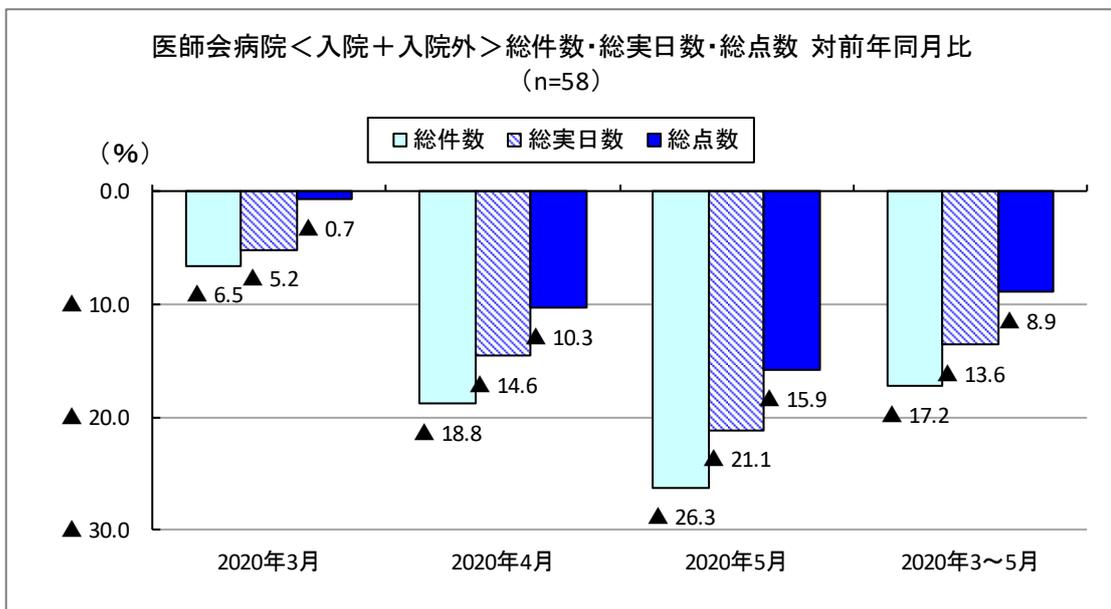
2

3 総件数、総実日数、総点数の対前年同月比は、2020年3月、4月、5月と
4 月を追うごとにマイナス幅が拡大し、2020年3～5月通期での対前年同期比
5 は総件数▲17.2%、総実日数▲13.6%、総点数▲8.9%であった(図 2.2.1)。

6

7

8 図 2.2.1 <入院+入院外>総件数・総実日数・総点数 対前年同月比



9

10

11

12 入院では、新型コロナウイルス感染症への対応のみならず、予定入院の延
13 期等により 2020年3～5月通期で総件数が▲13.9%となった(図 2.2.2)。

14

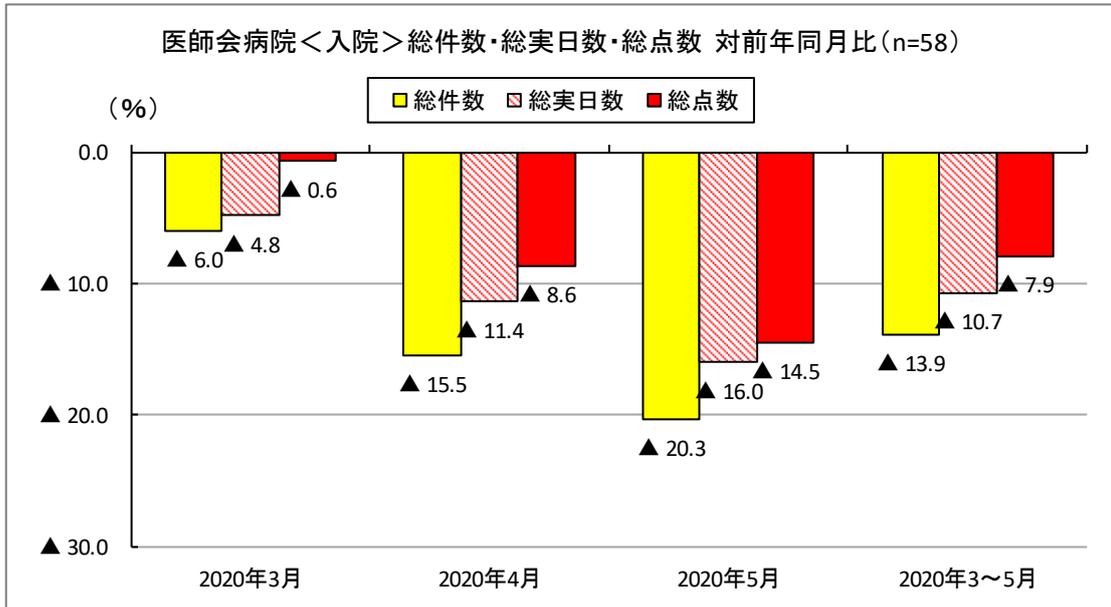
15 入院外では、2020年3～5月の総件数が▲17.7%、総実日数が▲17.9%と
16 大きく落ち込んだ(図 2.2.3)。外来受診控えの影響があるほか、職員の感染
17 により外来の一部を一時休止したところがある。

18

19

1

図 2.2.2 <入院>総件数・総実日数・総点数 対前年同月比



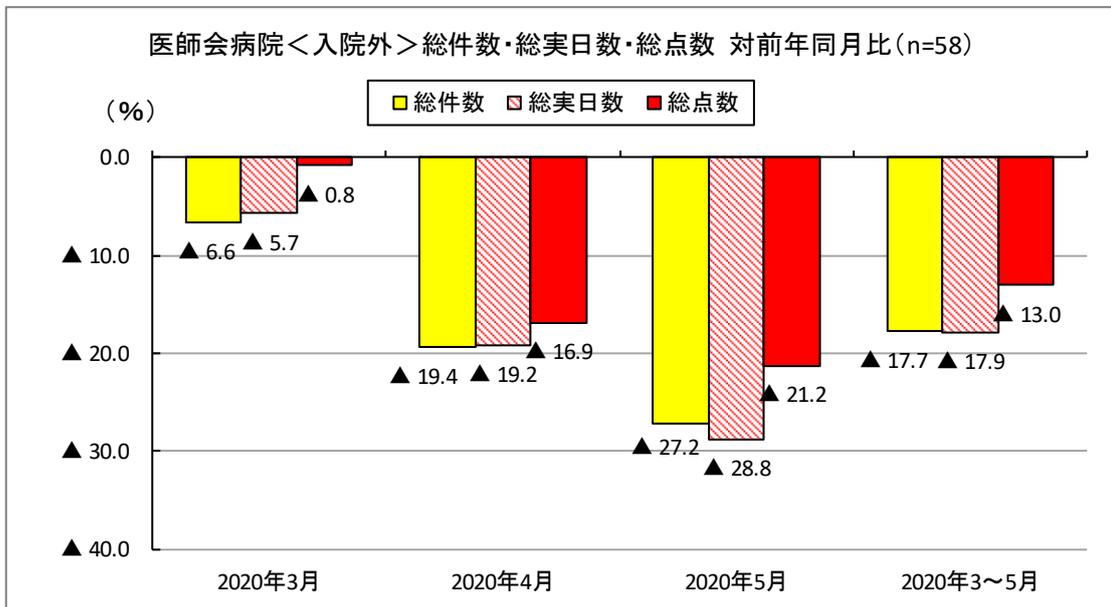
2

3

4

5

図 2.2.3 <入院外>総件数・総実日数・総点数 対前年同月比



6

7

8

1 入院では、新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の病院は、「なし」
 2 の病院に比べて、総件数、総実日数、総点数の落ち込みが大きく、2020年3
 3 ～5月通算で、新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の入院総件数の
 4 対前年同期比は▲16.6%であった（図 2.2.4）。

5

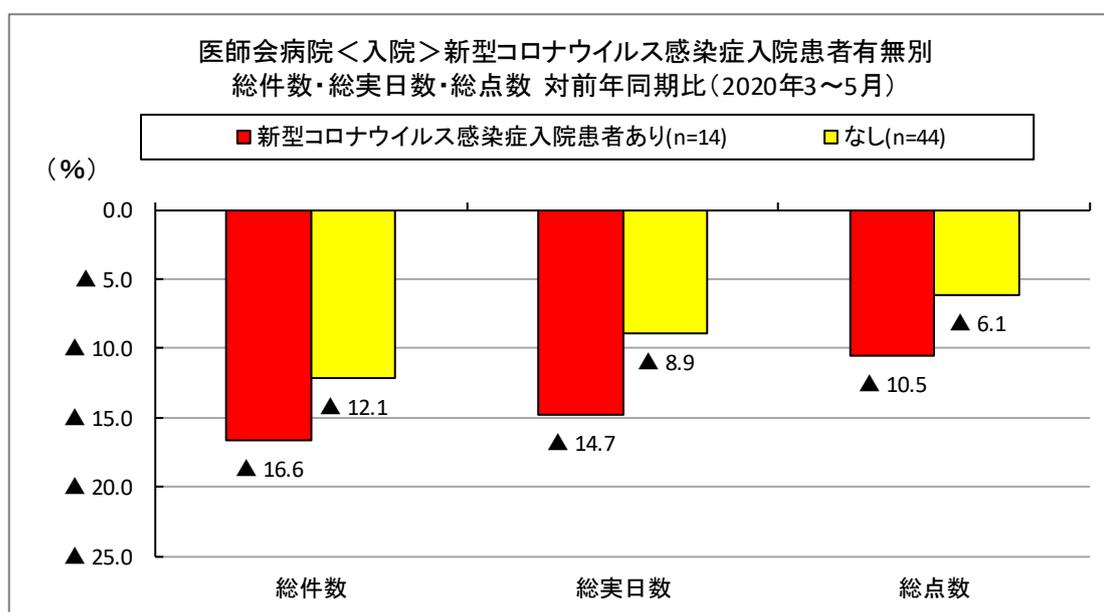
6

7

図 2.2.4 <入院>新型コロナウイルス感染症入院患者有無別

8

総件数・総実日数・総点数 対前年同期比



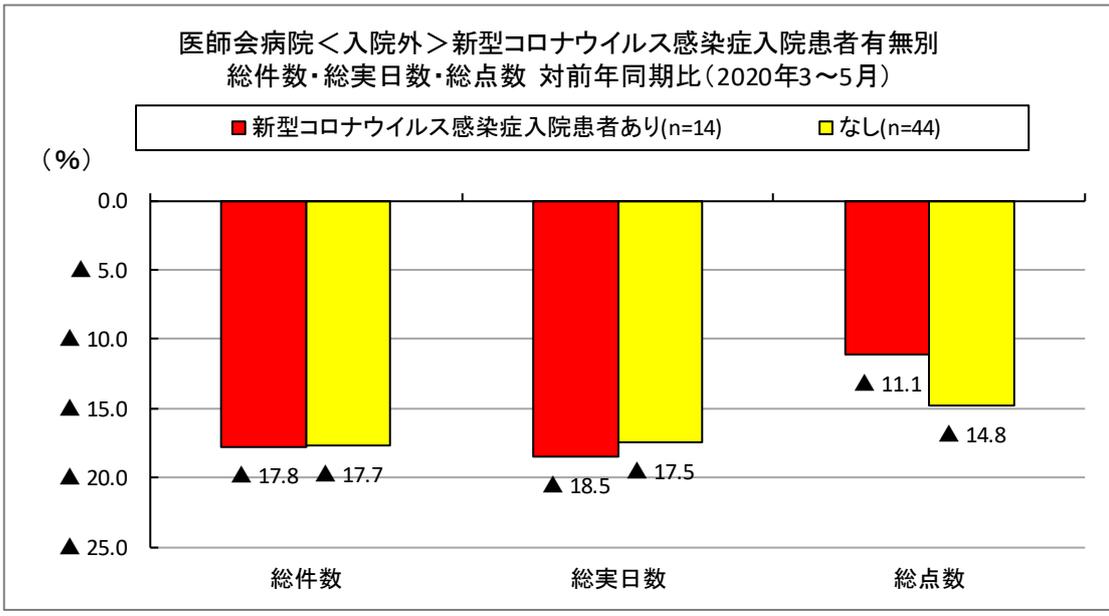
9

10

11

1 入院外では、2020年3～5月通算で、新型コロナウイルス感染症入院患者
 2 の有無にかかわらず、総件数、総実日数が前年に比べて2割近く減少した (図
 3 2.2.5)。新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の病院では相対的に総
 4 点数の減少幅が小さいが、1日当たり点数が上昇していることから(表 2.2.1)、
 5 重症・中等症の新型コロナウイルス感染症患者に対する診療報酬の引き上げ
 6 が収入に対しては一部寄与しているものと考えられる。しかし、新型コロナ
 7 ウイルス感染症入院患者「あり」の病院の医業利益(損失)はきわめて低い
 8 (後述)。

9
 10 図 2.2.5 <入院外>新型コロナウイルス感染症入院患者有無別
 11 総件数・総実日数・総点数 対前年同期比



12
 13
 14

表 2.2.1 <入院外>1日当たり点数

	n	2019年3～5月	2019年3～6月	増減(%)
新型コロナウイルス感染症入院患者あり	14	1,804	1,967	9.0
なし	44	1,445	1,492	3.3

15
 16
 17
 18

1 2.3. 初診料、再診料、電話等再診

2

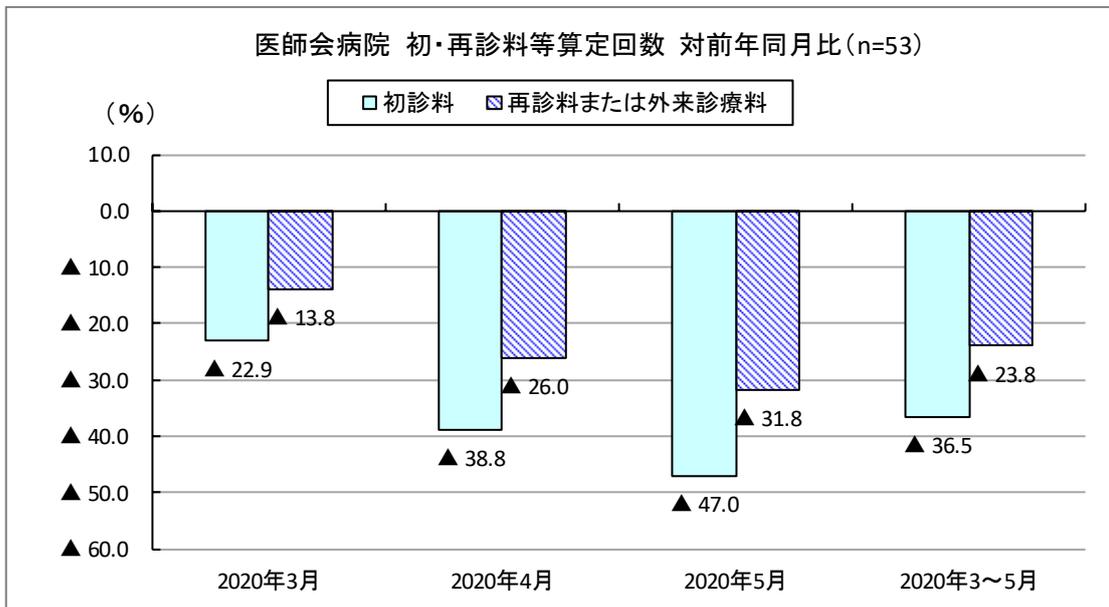
3 2020年3～5月通算の対前年同期比は、初診料で▲36.5%、再診料または
4 外来診療料で▲23.8%であった（図 2.3.1）。

5

6

7

図 2.3.1 初・再診料等算定回数 対前年同月比



8

9

10

11 初診料算定回数をもっとも減少した2020年5月では、ほとんどの病院で
12 初診料算定回数が減少しており、かつ、初診料算定回数が20%以上減少した
13 のは、新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の病院のすべて、地域医
14 療支援病院の約9割であった（図 2.3.2, 図 2.3.3）。地域医療支援病院は紹
15 介率が承認要件になっており、他院からの紹介の減少によるものと考えられ
16 る。

17

18

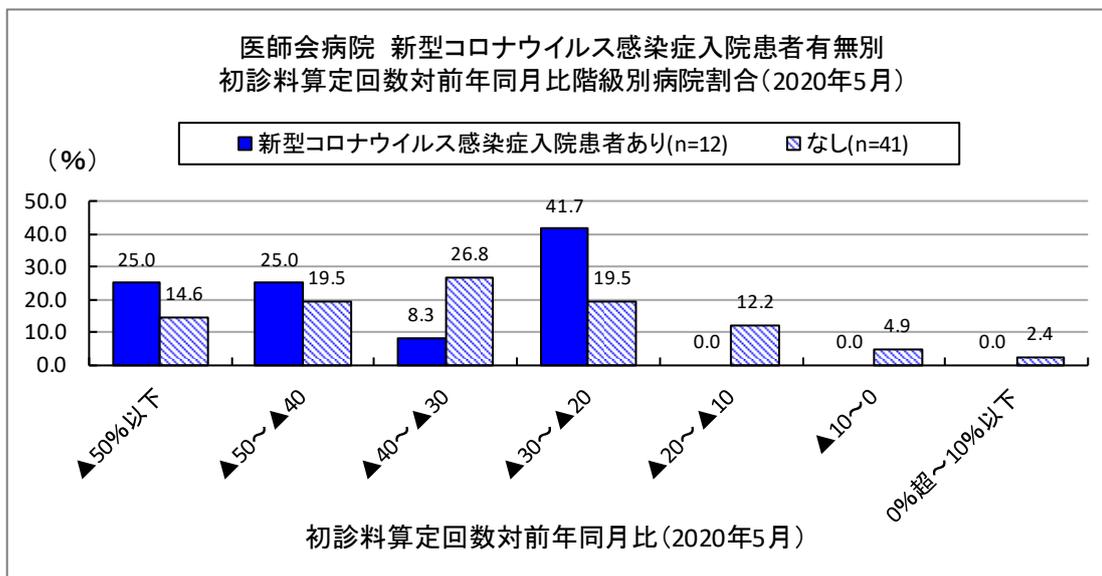
19

1

図 2.3.2 新型コロナウイルス感染症入院患者有無別

2

初診料算定回数対前年同月比階級別病院割合



3

4

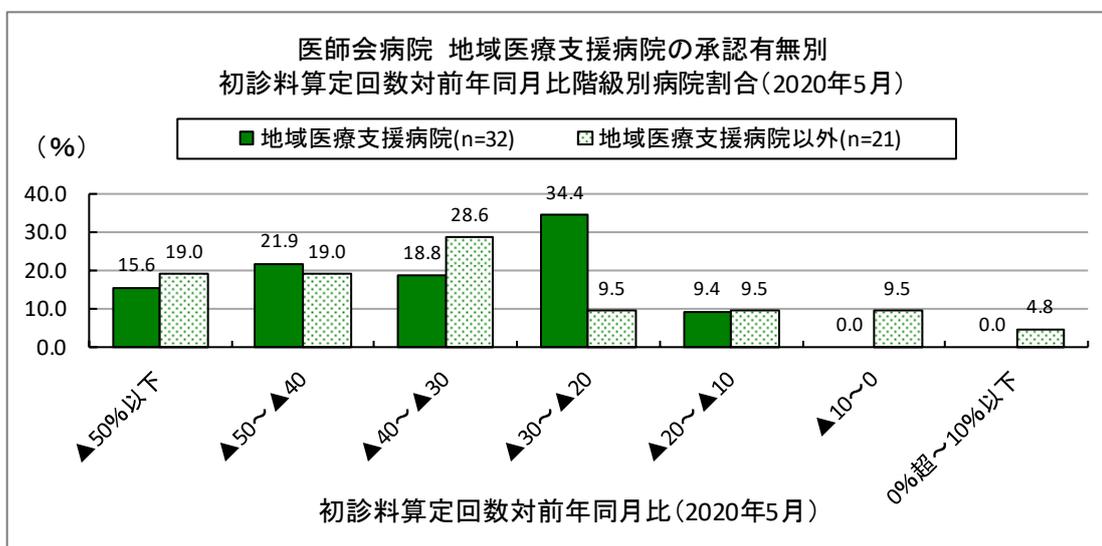
5

6

図 2.3.3 地域医療支援病院の承認有無別

7

初診料算定回数対前年同月比階級別病院割合



8

9

10

11

1 電話等再診は、2019年時点ではほとんど算定されていなかったが、2020
 2 年4月以降急速に増加した。電話等による初診の算定はほとんどなかった(表
 3 2.3.1)。

4
 5

6 表 2.3.1 初・再診料等の算定回数 (n=53, 有効回答医療機関の総計)

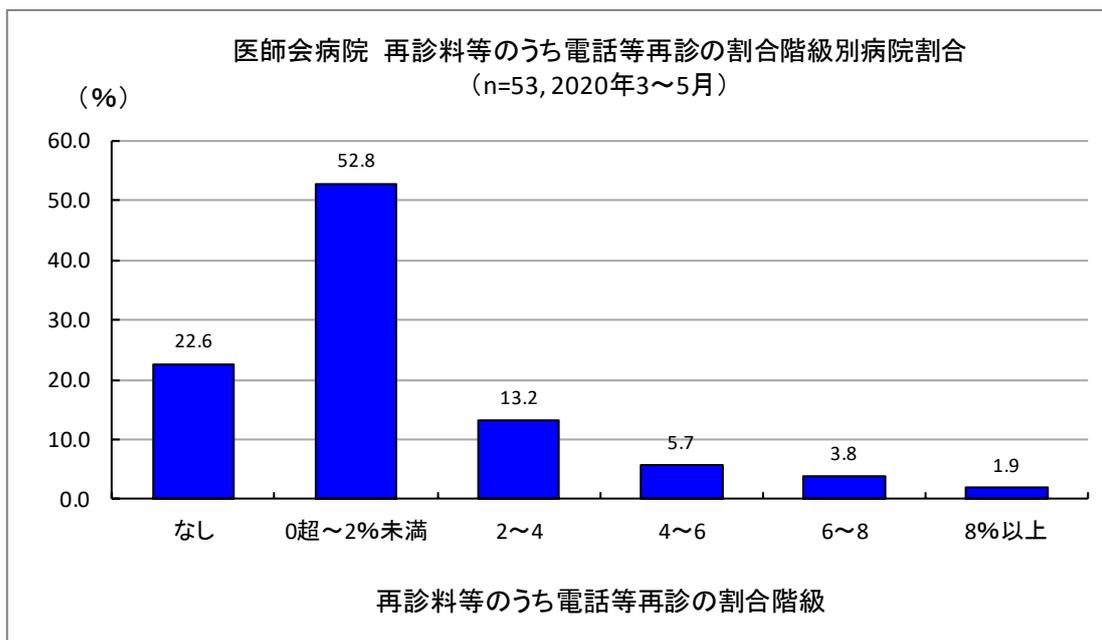
		3月	4月	5月	3~5月通算
初診料	2019年	34,961	34,841	37,815	107,617
	2020年	26,944	21,339	20,057	68,340
	対前年比(%)	▲ 22.9	▲ 38.8	▲ 47.0	▲ 36.5
電話等による初診	2019年	—	—	—	—
	2020年	—	1	0	1
	対前年比(%)	—	—	—	—
再診料または 外来診療料 ①	2019年	230,087	233,362	224,731	688,180
	2020年	198,319	172,789	153,371	524,479
	対前年比(%)	▲ 13.8	▲ 26.0	▲ 31.8	▲ 23.8
再診料または外来 診療料のうち電話 等再診 ②	2019年	1	5	2	8
	2020年	347	3,851	2,549	6,747
	対前年比(%)	34,600.0	76,920.0	127,350.0	84,237.5
②÷①×100(%)	2019年	0.00	0.00	0.00	0.00
	2020年	0.2	2.2	1.7	1.3

7
 8
 9

1 2020年3～5月の間に、電話等再診を行った病院は77.4%、行わなかった
2 病院は22.6%であった。電話等再診を行った病院における、再診料または外
3 来診療料（以下、再診料等）のうち電話等再診の割合は、多くの病院で2%
4 未満であるが、4%以上の病院が約1割あった（図2.3.4）。

5
6
7

図 2.3.4 再診料等のうち電話等再診の割合階級別病院割合



8
9
10
11

1 2.4. 損益の状況

2

3 2.4.1. 全体

4 2020年3～5月通算で、医業・介護収入の対前年同期比は、全体で▲10.1%、
 5 新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の病院で▲11.3%であった。療
 6 養病床60%以上の病院は、介護収入の減少も影響した（図2.4.1）。

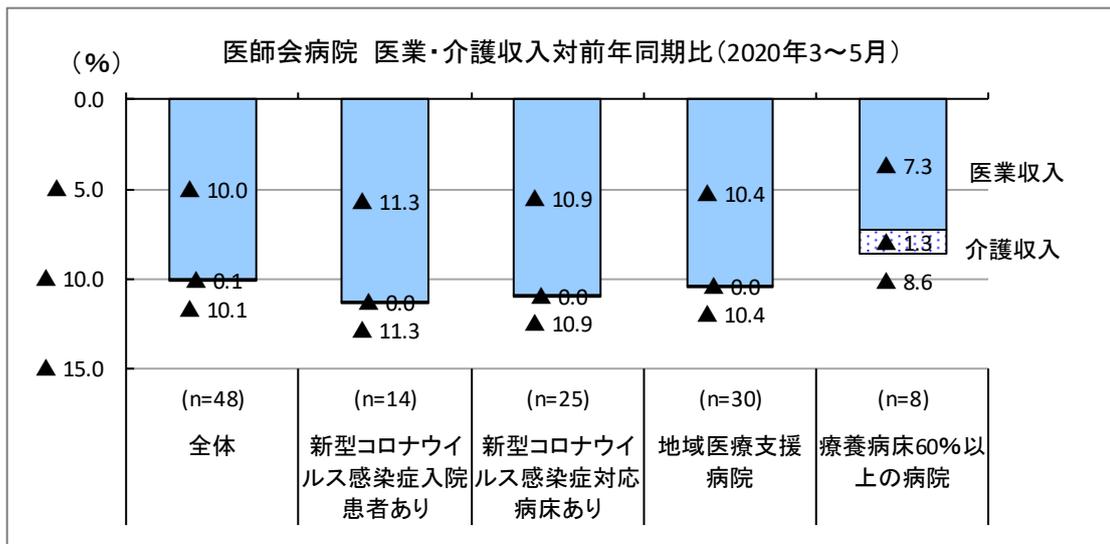
7 なお、新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の病院、療養病床60%
 8 以上の病院（介護医療院は療養病床にカウント）は客体数が少ないことに注
 9 意が必要である。

10

11

12

図 2.4.1 医業・介護収入対前年同期比（2020年3～5月）



13

14

15

16 医業収入の内訳別では、入院診療収入の寄与が大きいですが、療養病床60%
 17 以上の病院以外では、外来診療収益のマイナスの影響もある（図2.4.2）。

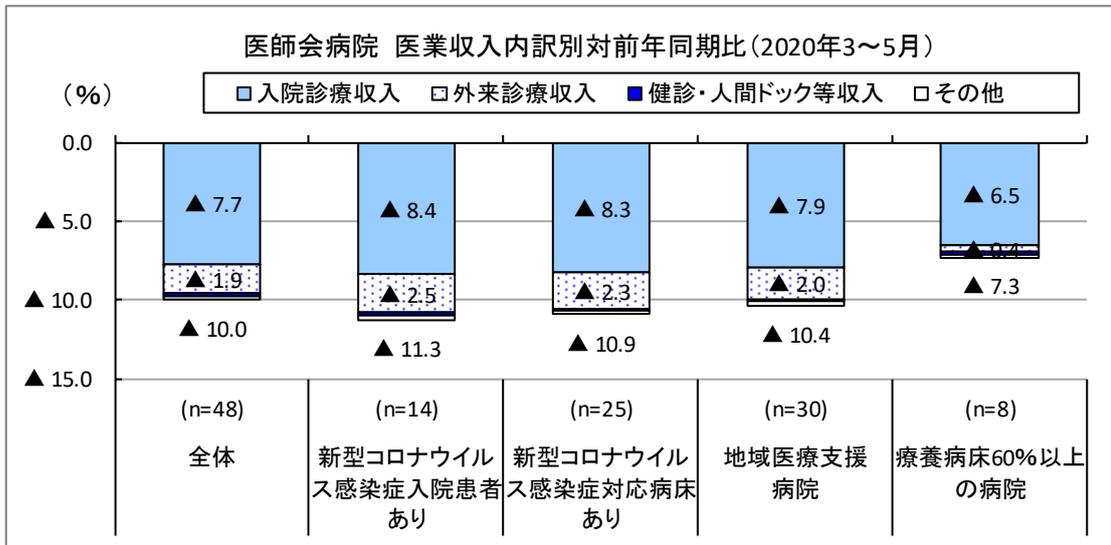
18 2020年5月の医業収入対前年同月比はほとんど病院でマイナスであり、
 19 約6割の病院では10%以上減少している（図2.4.3）。なお、持続化給付金²

² 給付上限は、法人200万円、個人事業主（個人開業医）100万円

1 の支給要件は売上が前年同月比で50%以上減少していることであるが、持続
 2 化給付金の要件を満たす医療機関はわずかである（ハードルが高い）。

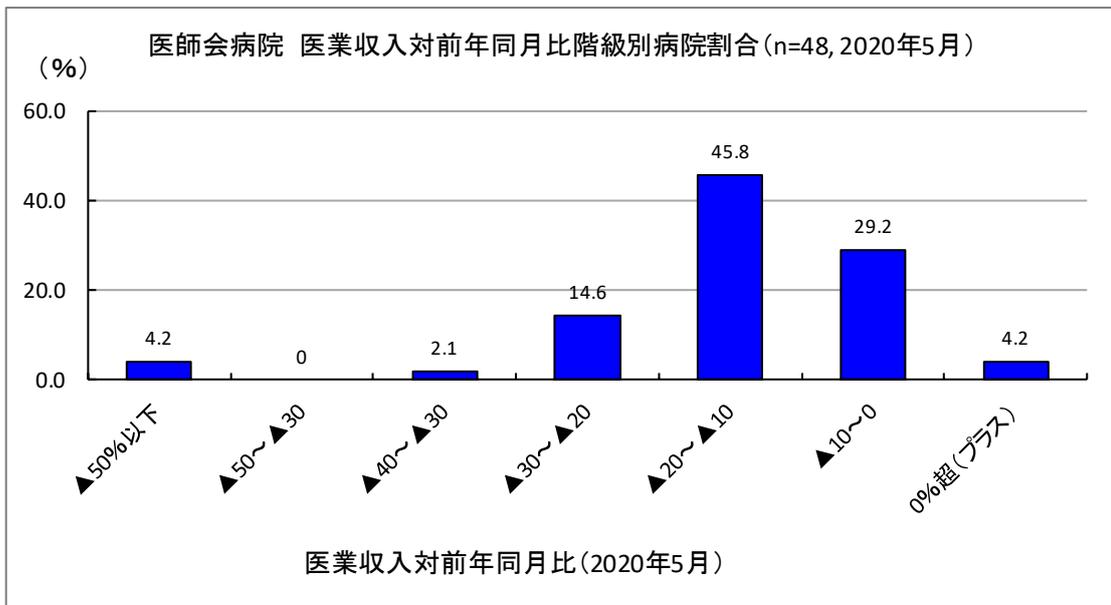
3
 4

図 2.4.2 医業収入内訳別対前年同期比



5
 6
 7
 8

図 2.4.3 医業収入対前年同月比階級別病院割合



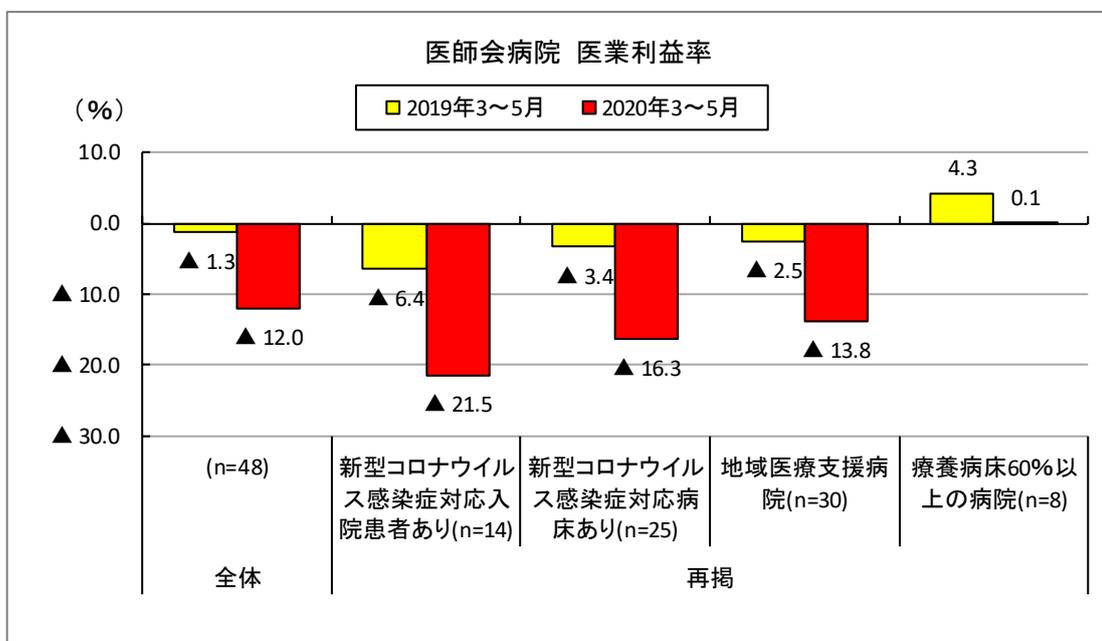
9
 10
 11
 12

1 医業利益率は医業収入の減少が影響して、全体で2019年3～5月の▲1.3%
 2 から、2020年3～5月は▲12.0%となった(図2.4.4)。

3
 4 新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の病院は、前年の▲6.4%か
 5 ら▲21.5%へ15.0ポイント³悪化、新型コロナウイルス感染症対応病床「あ
 6 り」の病院は、▲3.4%から▲16.3%へ12.9ポイント悪化した。療養病床60%
 7 以上の病院も水面上ギリギリに低下した。

8
 9
 10

図 2.4.4 医業利益率



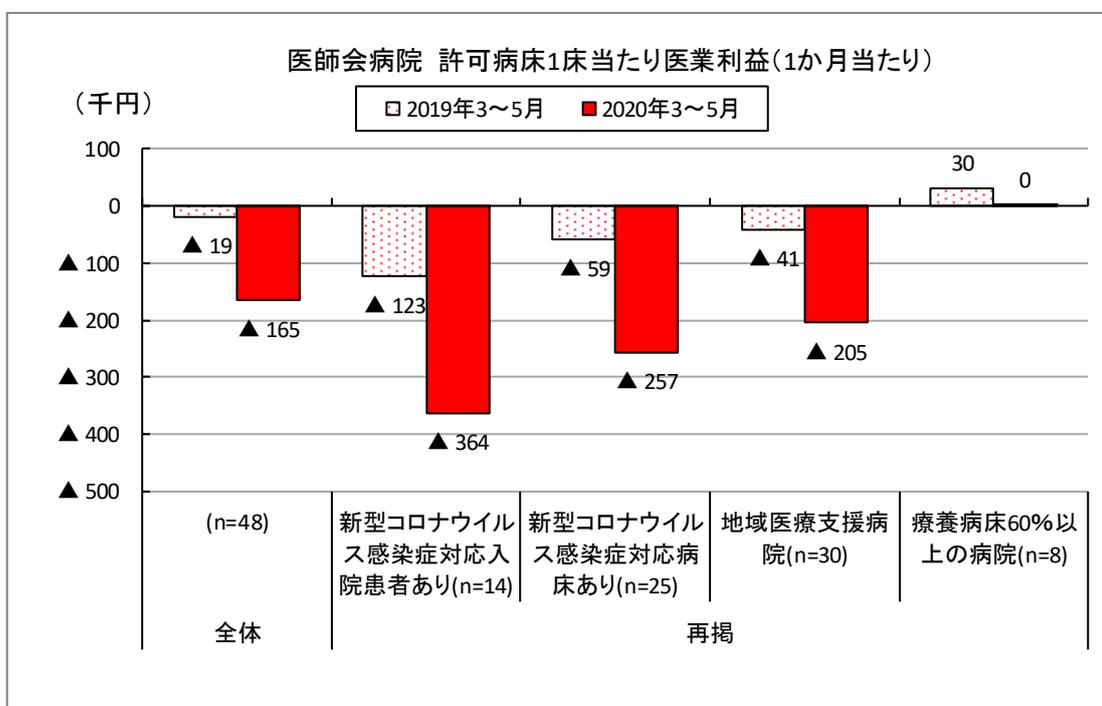
11
 12
 13
 14
 15

³ 四捨五入差があるので文中の差し引きと一致しない。以下、同様の箇所あり。

1 許可病床1床当たりの医業利益は、全体で2019年3～5月は▲19千円で
 2 あったが、2020年3～5月には▲165千円になった。新型コロナウイルス感
 3 染症入院患者「あり」の病院は▲123千円から▲364千円へ、241千円悪化、
 4 新型コロナウイルス感染症対応病床「あり」の病院は、▲59千円から▲257
 5 千円へ198千円悪化した(図2.4.5)。

6
 7
 8

図 2.4.5 許可病床1床当たり医業利益



9
 10
 11
 12
 13

1 2.4.2. 新型コロナウイルス感染症入院患者の有無別

2 新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の病院は、平均 254.5 床で、
 3 一般病床主体の病床である（表 2.4.1）。

4

5 表 2.4.1 新型コロナウイルス感染症入院患者有無別病床数等

許可病床数	(床)					
	n	一般	感染症	療養	その他	計
新型コロナウイルス感染症 入院患者ありの病院	14	242.6	2.5	7.1	2.3	254.5
なしの病院	34	140.8	0.2	44.4	0.0	185.4

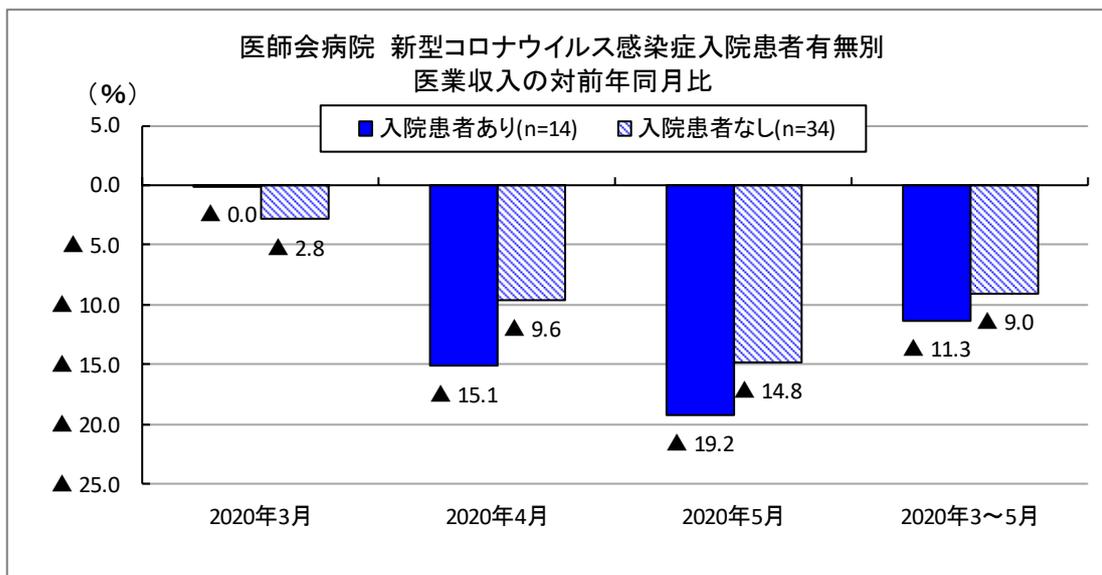
入院患者数	n	2020年			
		3月	4月	5月	平均
「あり」の病院の入院患者数	14	2.8	11.9	4.4	6.4

6 損益計算書提出なしまたは無効の病院を除く

7 新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の病院の医業収入は 2020 年
 8 5 月には対前年同月比▲19.2%となり（図 2.4.6）、医業利益率は 2019 年 3
 9 ～5 月の▲6.4%から、2020 年 3～5 月には▲21.5%と、15.0 ポイント悪化し
 10 た。入院患者「なし」の病院も黒字から赤字に転落した（図 2.4.7）。

11

12 図 2.4.6 新型コロナウイルス感染症入院患者有無別 医業収入の対前年同月比

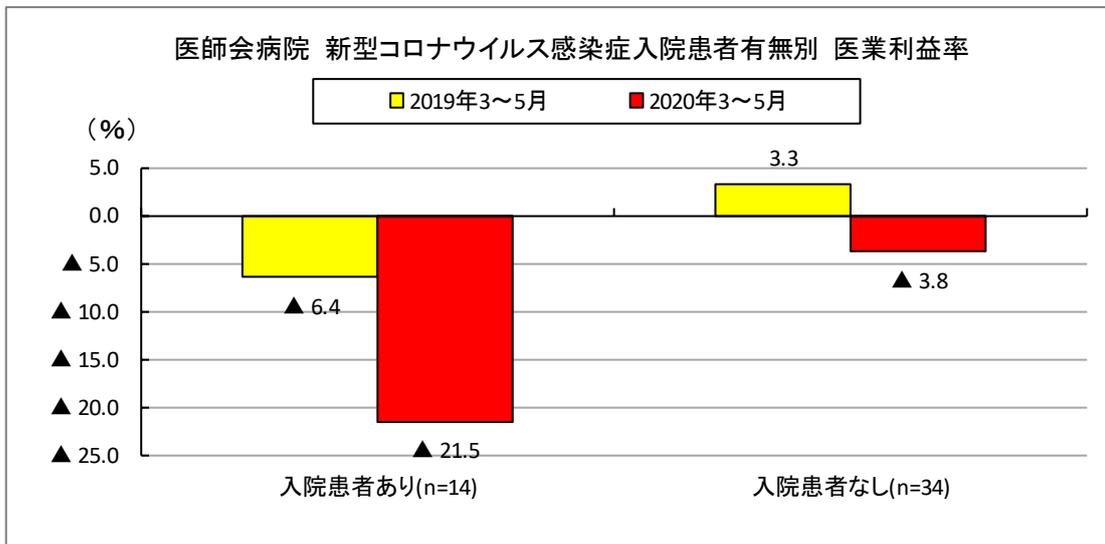


13

14

15

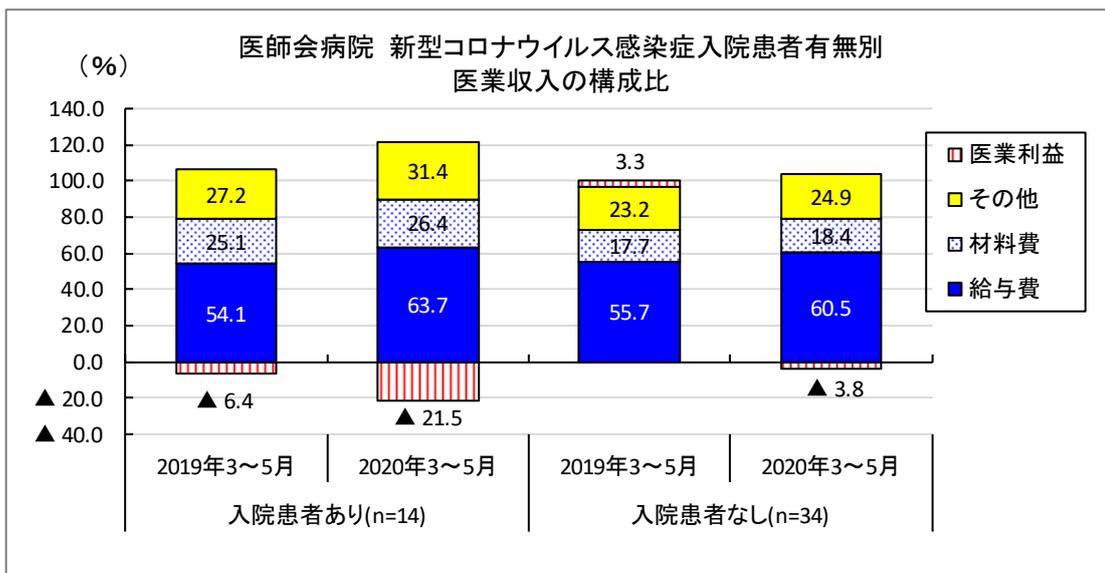
1 図 2.4.7 新型コロナウイルス感染症入院患者有無別 医業利益率



2
3
4
5
6
7
8
9

医業利益率の悪化は、医業収入の減少に伴い、固定費である給与費率が上昇したためである。新型コロナウイルス感染症入院患者「なし」の病院でも給与費率が上昇している（図 2.4.8）。

図 2.4.8 新型コロナウイルス感染症入院患者有無別 医業収入の構成比

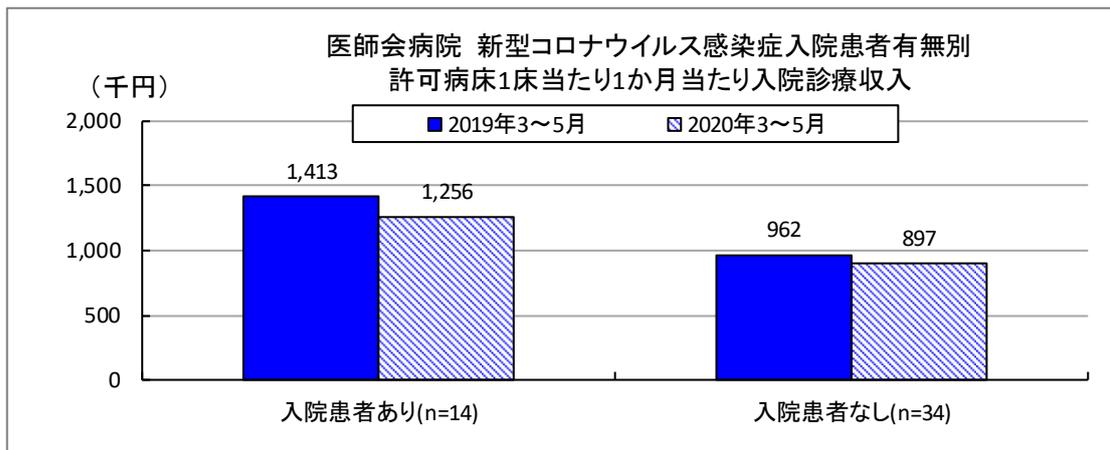


10
11
12

1 許可病床1床当たり1か月当たり入院診療収入は、新型コロナウイルス感
 2 染症入院患者「あり」の病院で、2019年3～5月の1,413千円から、2020
 3 年3～5月には1,256千円になり、157千円減少した。入院患者「なし」の
 4 病院では、同じく962千円から897千円へ、65千円減少した（図2.4.9）。

5

6 図2.4.9 新型コロナウイルス感染症入院患者有無別 許可病床1床当たり入院診療収入



7

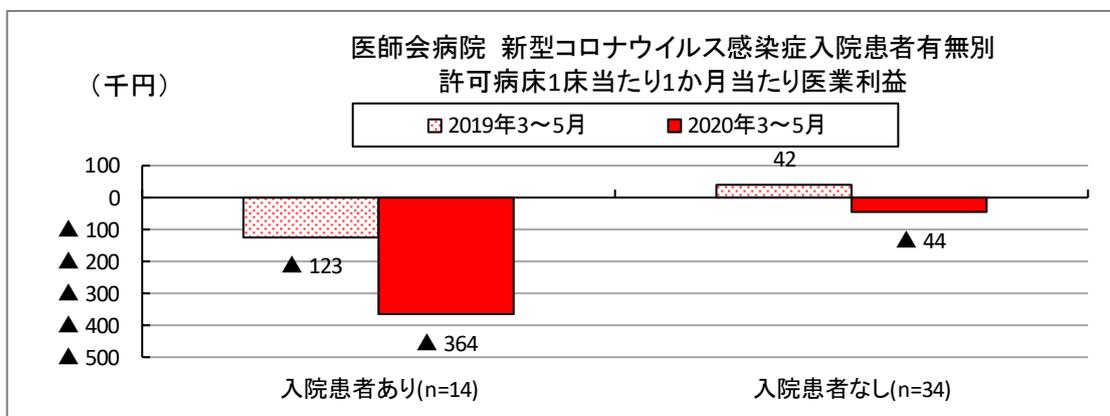
8

9 許可病床1床当たり1か月当たり医業利益は、新型コロナウイルス感染症
 10 入院患者「あり」の病院で、2019年3～5月の▲123千円から、2020年3
 11 ～5月には▲364千円になり、241千円悪化した。

12

13 図2.4.10 新型コロナウイルス感染症入院患者有無別

14 許可病床1床当たり1か月当たり医業利益



15

16

17

1 1 施設当たり医業利益は、新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の
 2 病院で対前年同期比 61 百万円悪化した。救急・周産期・小児医療機関で院
 3 内感染防止対策を講じ、入院患者を受け入れた場合には最大で 50 百万円が
 4 支給されるが⁴、ひと月の悪化分もカバーできない。このほかの支援⁵や入院
 5 患者自体には診療報酬の上乗せもあるものの、継続した支援が必要である。

6
 7 新型コロナウイルス感染症入院患者「なし」の病院でも医業利益は 15 百
 8 万円悪化した。新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金（一定の仮説を
 9 置いて 1 病院当たり 13 百万円⁶）があるものの、1 回限りであり、そもそも
 10 個人へ支給されるものであって病院経営の原資になるものではない。

11
 12
 13 表 2.4.2 新型コロナウイルス感染症入院患者有無別
 14 病院 1 施設当たり 1 か月当たり医業利益

(百万円)

	n	2019年3～5月	2020年3～5月	増減
新型コロナウイルス感染症 入院患者あり	14	▲ 31	▲ 93	▲ 61
なし	34	8	▲ 8	▲ 15

15
 16
 4 新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業のうち、支援金支給事業部分。都道府県に登録された医療機関は、99 床以下 2,000 万円、100 床以上 3,000 万円、以降 100 床ごとに 1,000 万円を上限額に追加。新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れを割り当てた医療機関には、上限額に 1,000 万円を加算。今回調査における入院患者「あり」の病院は平均 249.9 床なので 40 百万円（30 百万円+10 百万円）で、さらに 10 百万円を加算。

5 上記事業のうち、設備整備等に係る補助もある。

6 今回の調査で入院患者「なし」の病院は平均 178.5 床、一般病院の 100 床当たり医療従事者数および職員数は全国平均で約 150 人（2019 年「医療施設（静態・動態）調査」によると 148.4 人）、慰労金 5 万円 で計算。150 人×178.5 床/100 床×5 万円=13.4 百万円

1 2.4.3. 新型コロナウイルス感染症対応病床の有無別

2

3 新型コロナウイルス感染症対応病床「あり」の病院は、平均 232.4 床で、
4 ほぼすべてが一般病床である（表 2.4.3）。

5

6

7 表 2.4.3 新型コロナウイルス感染症対応病床の有無別病床数

許可病床数						(床)
	n	一般	感染症	療養	その他	計
新型コロナウイルス感染症 対応病床ありの病院	25	224.8	1.7	4.6	1.3	232.4
なしの病院	23	111.5	0.0	65.0	0.0	176.5

(床)

	n	2020年			
		3月	4月	5月	平均
「あり」の病院の対応病床数 ※	25	5.2	10.1	10.8	8.7

※入院患者なしの場合でも病床を確保していた場合にはカウント
損益計算書提出なしまたは無効の病院を除く

8

9

10

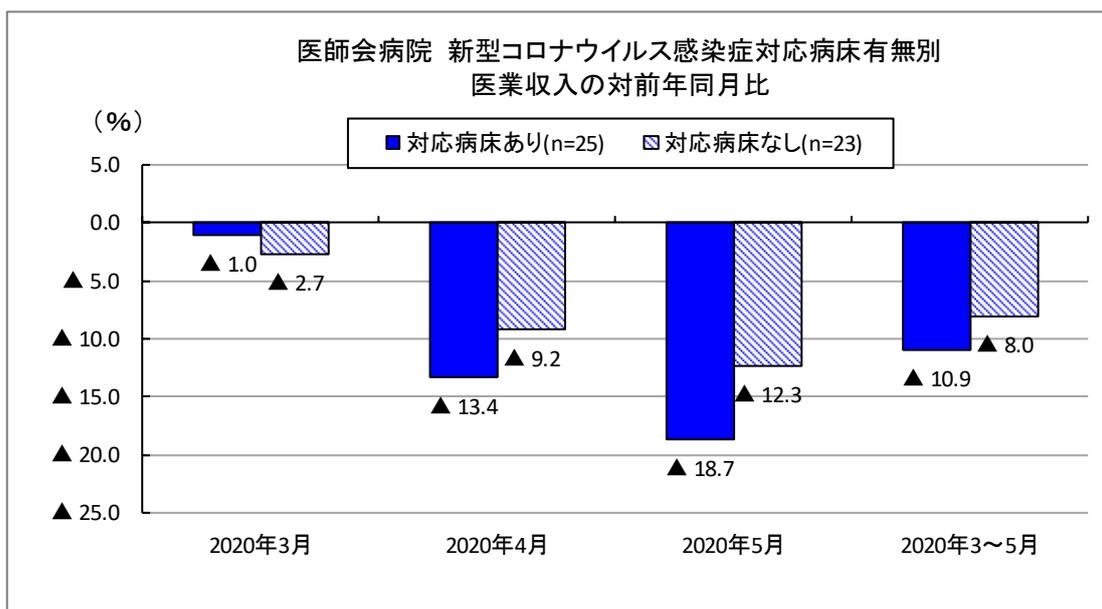
11

12

1 新型コロナウイルス感染症対応病床「あり」の病院の医業収入は 2020 年
 2 5 月には対前年同月比▲18.7%となり（図 2.4.11）、医業利益率は 2019 年 3
 3 ～5 月の▲3.4%から、2020 年 3～5 月には▲16.3%と、12.9 ポイント悪化し
 4 た。対応病床「なし」の病院も黒字から赤字に転落した（図 2.4.12）。

5

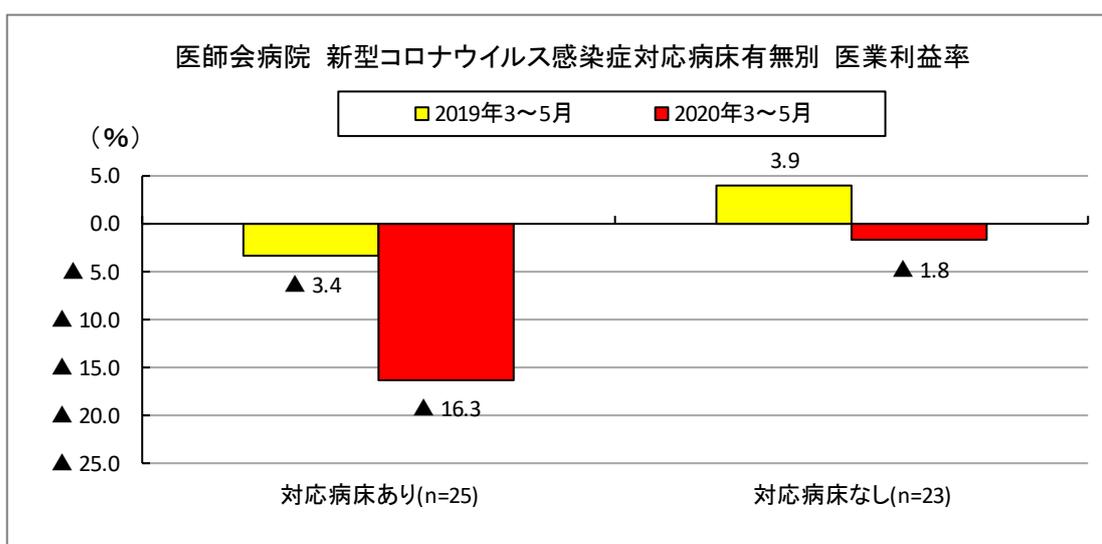
6 図 2.4.11 新型コロナウイルス感染症対応病床有無別 医業収入の対前年同月比



7

8

9 図 2.4.12 新型コロナウイルス感染症対応病床有無別 医業利益率



10

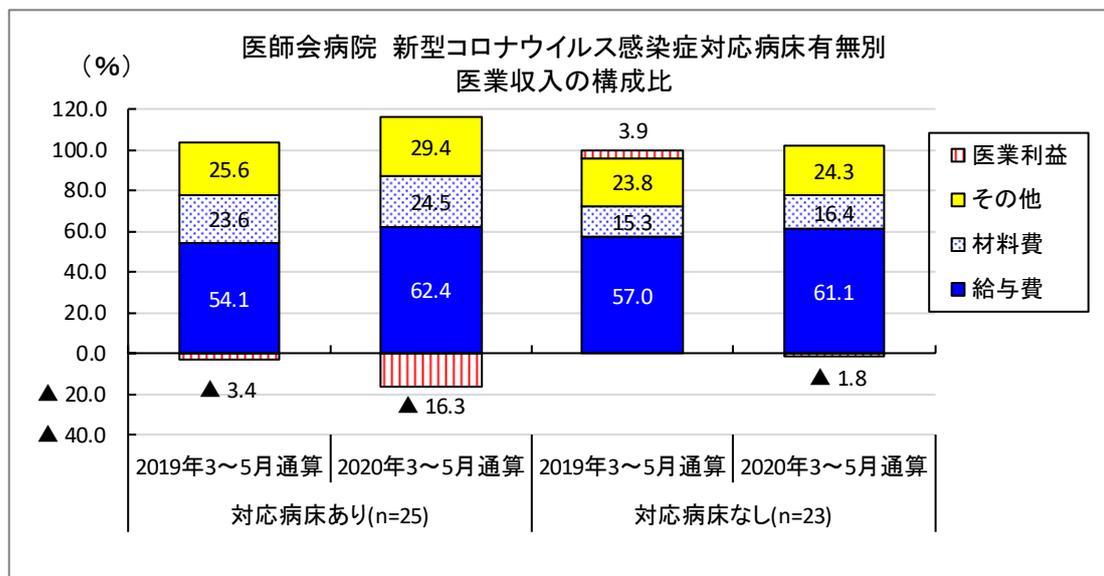
11

12

1 医業利益率の悪化は、医業収入の減少に伴う固定費である給与費率の上昇
 2 によるものである（図 2.4.13）。

3

4 図 2.4.13 新型コロナウイルス感染症対応病床有無別 医業収入の構成比



5

6

7

8 許可病床 1 床当たり 1 か月当たり入院診療収入は、新型コロナウイルス感
 9 染症対応病床「あり」の病院で、2019 年 3~5 月の 1,331 千円から、2020
 10 年 3~5 月には 1,196 千円になり、135 千円減少した。対応患者「なし」の
 11 病院では、同じく 775 千円から 733 千円へ、41 千円減少した（図 2.4.14）。

12

13 許可病床 1 床当たり 1 か月当たり医業利益は、新型コロナウイルス感染症
 14 対応病床「あり」の病院で、2019 年 3~5 月の▲59 千円から、2020 年 3~5
 15 月には 257 千円になり、198 千円悪化した（図 2.4.15）。

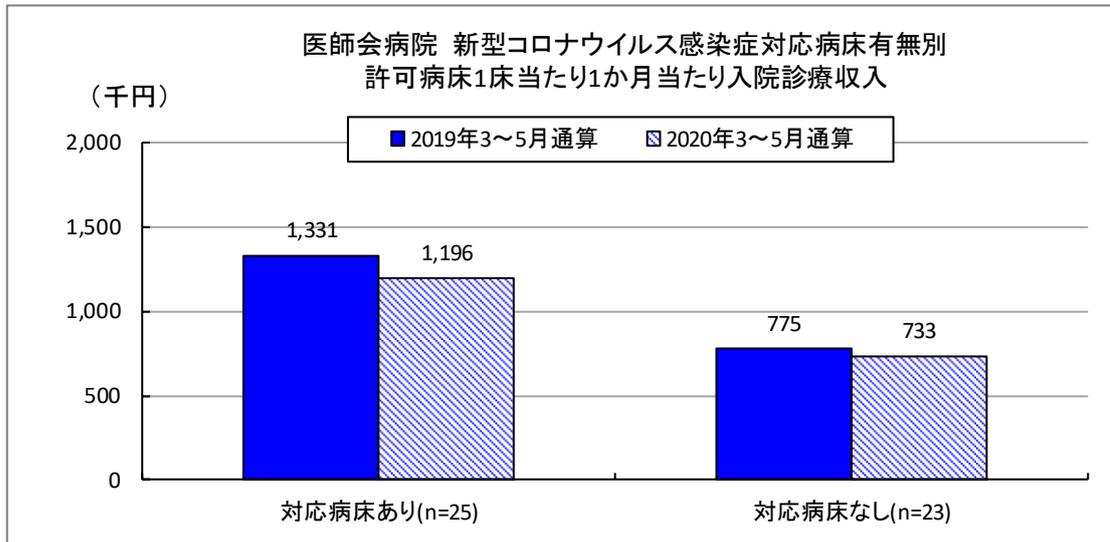
16

17

18

1
2

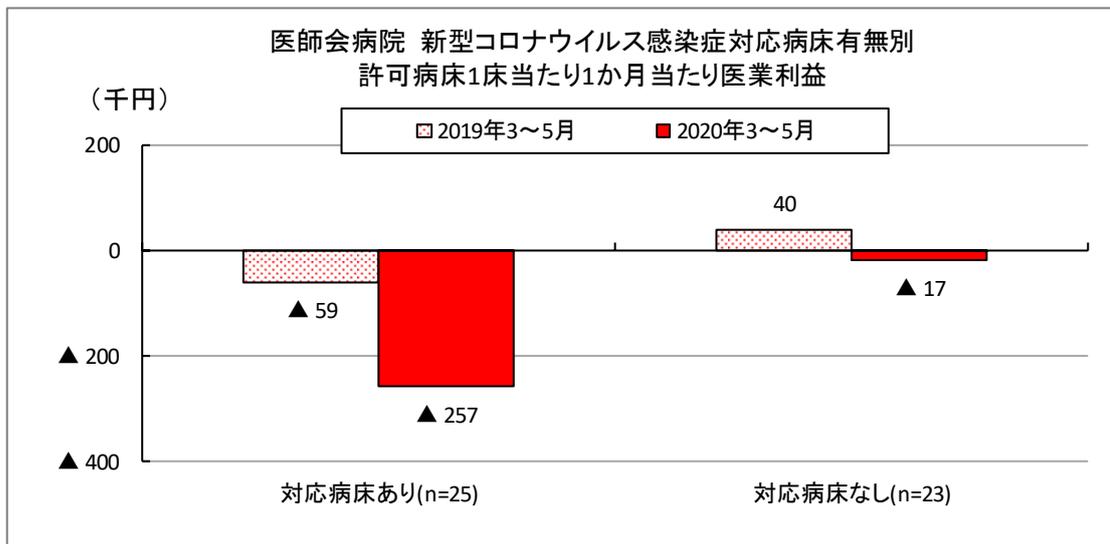
図 2.4.14 新型コロナウイルス感染症対応病床有無別
許可病床1床当たり1か月当たり入院診療収入



3
4
5

6
7

図 2.4.15 新型コロナウイルス感染症対応病床有無別
許可病床1床当たり1か月当たり医業利益



8
9
10

1 1 施設当たり医業利益は、新型コロナウイルス感染症対応病床「あり」の
2 病院で対前年同期比 46 百万円の悪化であった（表 2.4.4）。

3 前述のように、救急・周産期・小児医療機関で院内感染防止対策を講じ、
4 入院患者を受け入れた場合には 50 百万円が支給されるが、ひと月分の赤字
5 がカバーされる程度である。

6

7

8 表 2.4.4 新型コロナウイルス感染症対応病床有無別

9 病院 1 施設当たり 1 か月当たり医業利益

(百万円)

	n	2019年3～5月	2020年3～5月	増減
新型コロナウイルス感染症 対応病床あり	25	▲ 14	▲ 60	▲ 46
なし	23	7	▲ 3	▲ 10

10

11

12

13

14

15

1 一方、新型コロナウイルス感染症患者対応のために病床を確保している場
 2 合には、空床確保料が補助される⁷。今回の調査において、新型コロナウイルス
 3 ス感染症対応病床「あり」かつ同入院患者「なし」で空床状態になっている
 4 病院の医業利益の悪化分は 26 百万円である。仮に一般医療機関の ICU で空
 5 床を確保している場合、1 か月当たりの空床確保補助金はひと月の医業利益
 6 (損失)悪化分の 6 割程度と計算される (※)。

7 ※空床確保補助金：一般医療機関の ICU の場合 97 千円／日を補助
 8 $97 \text{ 千円} \times 5 \text{ 床} \times 31 \text{ 日} = 15 \text{ 百万円} / \text{月}$

9
 10

11 表 2.4.5 新型コロナウイルス感染症対応病床ありの病院における入院患者有無別
 12 病院 1 施設 1 か月当たり医業利益

(百万円)

	入院患者	n	対応病床	2019年3~5月	2020年3~5月	増減
新型コロナウイルス 感染症対応病床あり	あり	13	12.1	▲ 34	▲ 99	▲ 64
	なし	12	5.0	8	▲ 18	▲ 26

13
 14
 15
 16
 17
 18
 19

⁷ たとえば、ICU の空床確保料は一般の医療機関で 97 千円／日、重点医療機関で 307 千円／日。

1 3. まとめ

2

3 ● 新型コロナウイルス感染症患者「あり」、あるいは対応病床「あり」の病
4 院では、医業利益が大幅に悪化した。重症・中等症の新型コロナウイルス
5 感染症患者に対する診療報酬の引き上げ、救急・周産期・小児医療機
6 関で新型コロナウイルス感染症入院患者を受け入れた病院への補助金、
7 新型コロナウイルス感染症患者のために病床を確保している病院への補
8 助金等があるが、固定費である給与費をカバーするにはまったく不十分
9 であった。

10

11 ● 新型コロナウイルス感染症に対応していない病院も、医業収入が大きく
12 減少し、給与費等固定費をまかないきれず、医業利益が悪化した。新型
13 コロナウイルス感染症対応従事者慰労金があるものの、1回限りであり、
14 そもそも個人へ支給されるものであって病院経営の原資になるものでは
15 ない。

16

17 ● 今後状況が大幅に改善したとしても、(受診控え、健診控えは容易に回復
18 しないと見込まれる)、足下の損失を挽回できるわけではない。これまで
19 の固定費をカバーする支援を行わない限り、医療提供体制は維持できな
20 い。今回の調査は5月分までであるが、6月以降も厳しい状況が続いて
21 おり、追加的支援は必須である。

22

23 ● すべての医療機関が新型コロナウイルス感染症に対応しているといつて
24 も過言ではない。一般患者の受け皿があつてこそ、新型コロナウイルス
25 感染症患者に集中できる。新型コロナウイルス感染症重点医療機関等を
26 支えるためにも、後方支援医療機関への支援も不可欠である。

27

28 ● 今回の調査では非常に高い回答率が得られた。医療機関にとって回答の
29 負担は小さくなかったはずであるが、現場の窮状を訴える声がそれを上
30 回ったからであろう。現時点で、国(厚生労働省)の経営調査は予定さ

1 れていないが、レセプトや医療費の動向からだけでは収入への影響しか
2 わからない。「医療経済実態調査」を簡略化し、期間も四半期（たとえば
3 2020年4～6月）とする、あるいは厚生労働省所管の国立病院機構、労
4 働者健康安全機構（労災病院）、地域医療機能推進機構（JCHO）、総務
5 省所管の自治体病院の調査を行うなどして、損益計算書およびキャッ
6 シュ・フローの実態等についても把握すべきと考える。

7

8

1 資料 損益計算書

2

全体

有効回答数	48
許可病床数	197.5

1施設当たり

	3~5月平均				
	金額(千円)		構成比(%)		対前年 比(%)
	2019年	2020年	2019年	2020年	
医業収入	299,180	268,948	99.2	98.9	▲ 10.1
入院診療収入	226,556	206,703	75.2	76.0	▲ 8.8
室料差額収入	3,296	2,872	1.1	1.1	▲ 12.9
外来診療収入	58,483	50,928	19.4	18.7	▲ 12.9
健診・人間ドック等収入	6,263	4,375	2.1	1.6	▲ 30.1
その他の医業収入	5,495	4,976	1.8	1.8	▲ 9.4
小計	300,092	269,856	99.5	99.2	▲ 10.1
保険等査定増減	▲ 913	▲ 908	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.6
介護収入	2,282	3,010	0.8	1.1	31.9
医業・介護費用	305,242	304,495	101.3	112.0	▲ 0.2
給与費	165,693	168,539	55.0	62.0	1.7
材料費	63,866	60,166	21.2	22.1	▲ 5.8
委託費	25,822	25,075	8.6	9.2	▲ 2.9
減価償却費	13,458	14,777	4.5	5.4	9.8
その他経費	36,068	35,606	12.0	13.1	▲ 1.3
本部費配賦額(役員報酬等)	335	332	0.1	0.1	▲ 1.1
医業利益	▲ 3,781	▲ 32,537	▲ 1.3	▲ 12.0	—

許可病床1床当たり金額

(千円)

	3~5月平均		
	2019年	2020年	増減
医業収入	1,515	1,362	▲ 153
(再掲)入院診療収入	1,147	1,047	▲ 101
介護収入	12	15	4
医業・介護費用	1,546	1,542	▲ 4
医業利益	▲ 19	▲ 165	▲ 146

3

4

(再掲)新型コロナウイルス感染症入院患者「あり」の病院

有効回答数	14
許可病床数	254.5

1施設当たり

	3~5月平均				
	金額(千円)		構成比(%)		対前年 比(%)
	2019年	2020年	2019年	2020年	
医業収入	486,394	431,455	100.0	100.0	▲ 11.3
入院診療収入	359,549	319,637	73.9	74.1	▲ 11.1
室料差額収入	5,858	4,998	1.2	1.2	▲ 14.7
外来診療収入	105,873	93,702	21.8	21.7	▲ 11.5
健診・人間ドック等収入	6,172	4,725	1.3	1.1	▲ 23.5
その他の医業収入	9,802	9,238	2.0	2.1	▲ 5.7
小計	487,253	432,301	100.2	100.2	▲ 11.3
保険等査定増減	▲ 860	▲ 846	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 1.6
介護収入	2	1	0.0	0.0	▲ 30.7
医業・介護費用	517,671	524,083	106.4	121.5	1.2
給与費	263,293	274,838	54.1	63.7	4.4
材料費	122,018	113,928	25.1	26.4	▲ 6.6
委託費	48,992	48,804	10.1	11.3	▲ 0.4
減価償却費	15,853	18,953	3.3	4.4	19.6
その他経費	66,808	66,884	13.7	15.5	0.1
本部費配賦額(役員報酬等)	708	677	0.1	0.2	▲ 4.4
医業利益	▲ 31,275	▲ 92,627	▲ 6.4	▲ 21.5	—

許可病床1床当たり金額

(千円)

	3~5月平均		
	2019年	2020年	増減
医業収入	1,911	1,695	▲ 216
(再掲)入院診療収入	1,413	1,256	▲ 157
介護収入	0	0	▲ 0
医業・介護費用	2,034	2,059	25
医業利益	▲ 123	▲ 364	▲ 241

(再掲)新型コロナウイルス感染症入院患者「なし」の病院

有効回答数	34
許可病床数	178.5

1施設当たり

	3~5月平均				
	金額(千円)		構成比(%)		対前年 比(%)
	2019年	2020年	2019年	2020年	
医業収入	222,091	202,034	98.6	97.9	▲ 9.0
入院診療収入	171,795	160,200	76.2	77.7	▲ 6.7
室料差額収入	2,241	1,997	1.0	1.0	▲ 10.9
外来診療収入	38,969	33,314	17.3	16.1	▲ 14.5
健診・人間ドック等収入	6,300	4,231	2.8	2.1	▲ 32.8
その他の医業収入	3,721	3,221	1.7	1.6	▲ 13.4
小計	223,026	202,967	99.0	98.4	▲ 9.0
保険等査定増減	▲ 935	▲ 933	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.2
介護収入	3,220	4,248	1.4	2.1	31.9
医業・介護費用	217,772	214,076	96.7	103.8	▲ 1.7
給与費	125,505	124,769	55.7	60.5	▲ 0.6
材料費	39,922	38,029	17.7	18.4	▲ 4.7
委託費	16,281	15,304	7.2	7.4	▲ 6.0
減価償却費	12,472	13,058	5.5	6.3	4.7
その他経費	23,410	22,726	10.4	11.0	▲ 2.9
本部費配賦額(役員報酬等)	182	189	0.1	0.1	4.2
医業利益	7,540	▲ 7,795	3.3	▲ 3.8	—

許可病床1床当たり金額

(千円)

	3~5月平均			
	2019年	2020年	増減	
医業収入	1,244	1,132	▲ 112	
(再掲)入院診療収入	962	897	▲ 65	
介護収入	18	24	6	
医業・介護費用	1,220	1,199	▲ 21	
医業利益	42	▲ 44	▲ 86	

(再掲)新型コロナウイルス感染症患者対応病床「あり」の病院

有効回答数	25
許可病床数	232.4

1施設当たり

	3~5月平均				
	金額(千円)		構成比(%)		対前年 比(%)
	2019年	2020年	2019年	2020年	
医業収入	411,373	366,419	100.0	100.0	▲ 10.9
入院診療収入	309,205	277,797	75.1	75.8	▲ 10.2
室料差額収入	4,402	3,784	1.1	1.0	▲ 14.0
外来診療収入	87,175	75,818	21.2	20.7	▲ 13.0
健診・人間ドック等収入	4,525	3,367	1.1	0.9	▲ 25.6
その他の医業収入	6,926	6,540	1.7	1.8	▲ 5.6
小計	412,233	367,306	100.2	100.2	▲ 10.9
保険等査定増減	▲ 860	▲ 887	▲ 0.2	▲ 0.2	3.1
介護収入	81	105	0.0	0.0	29.5
医業・介護費用	425,264	426,233	103.4	116.3	0.2
給与費	222,727	228,569	54.1	62.4	2.6
材料費	97,007	89,972	23.6	24.5	▲ 7.3
委託費	37,453	36,734	9.1	10.0	▲ 1.9
減価償却費	15,935	18,784	3.9	5.1	17.9
その他経費	51,650	51,711	12.6	14.1	0.1
本部費配賦額(役員報酬等)	491	463	0.1	0.1	▲ 5.7
医業利益	▲ 13,810	▲ 59,709	▲ 3.4	▲ 16.3	—

許可病床1床当たり金額

(千円)

	3~5月平均		
	2019年	2020年	増減
医業収入	1,770	1,577	▲ 193
(再掲)入院診療収入	1,331	1,196	▲ 135
介護収入	0	0	0
医業・介護費用	1,830	1,834	4
医業利益	▲ 59	▲ 257	▲ 198

(再掲)新型コロナウイルス感染症患者対応病床「なし」の病院

有効回答数	23
許可病床数	176.5

1施設当たり

	3~5月平均				
	金額(千円)		構成比(%)		対前年 比(%)
	2019年	2020年	2019年	2020年	
医業収入	177,230	163,002	97.4	96.4	▲ 8.0
入院診療収入	136,721	129,427	75.2	76.5	▲ 5.3
室料差額収入	2,093	1,881	1.2	1.1	▲ 10.1
外来診療収入	27,295	23,873	15.0	14.1	▲ 12.5
健診・人間ドック等収入	8,152	5,470	4.5	3.2	▲ 32.9
その他の医業収入	3,939	3,276	2.2	1.9	▲ 16.8
小計	178,200	163,932	98.0	96.9	▲ 8.0
保険等査定増減	▲ 970	▲ 930	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 4.2
介護収入	4,674	6,167	2.6	3.6	31.9
医業・介護費用	174,784	172,172	96.1	101.8	▲ 1.5
給与費	103,700	103,289	57.0	61.1	▲ 0.4
材料費	27,844	27,769	15.3	16.4	▲ 0.3
委託費	13,179	12,401	7.2	7.3	▲ 5.9
減価償却費	10,766	10,422	5.9	6.2	▲ 3.2
その他経費	19,130	18,100	10.5	10.7	▲ 5.4
本部費配賦額(役員報酬等)	166	189	0.1	0.1	13.7
医業利益	7,120	▲ 3,003	3.9	▲ 1.8	—

許可病床1床当たり金額

(千円)

	3~5月平均		
	2019年	2020年	増減
医業収入	1,004	924	▲ 81
(再掲)入院診療収入	775	733	▲ 41
介護収入	26	35	8
医業・介護費用	990	976	▲ 15
医業利益	40	▲ 17	▲ 57

1

2

(再掲) 地域医療支援病院

有効回答数	30
許可病床数	247.7

1施設当たり

	3~5月平均				
	金額(千円)		構成比(%)		対前年 比(%)
	2019年	2020年	2019年	2020年	
医業収入	408,270	365,866	99.8	99.8	▲ 10.4
入院診療収入	307,269	278,756	75.1	76.0	▲ 9.3
室料差額収入	4,427	3,843	1.1	1.0	▲ 13.2
外来診療収入	82,495	71,791	20.2	19.6	▲ 13.0
健診・人間ドック等収入	8,162	6,150	2.0	1.7	▲ 24.7
その他の医業収入	7,237	6,668	1.8	1.8	▲ 7.9
小計	409,591	367,210	100.1	100.1	▲ 10.3
保険等査定増減	▲ 1,321	▲ 1,344	▲ 0.3	▲ 0.4	1.8
介護収入	829	835	0.2	0.2	0.6
医業・介護費用	419,274	417,475	102.5	113.8	▲ 0.4
給与費	220,701	224,101	53.9	61.1	1.5
材料費	94,607	88,588	23.1	24.2	▲ 6.4
委託費	35,217	34,539	8.6	9.4	▲ 1.9
減価償却費	18,190	20,410	4.4	5.6	12.2
その他経費	50,071	49,363	12.2	13.5	▲ 1.4
本部費配賦額(役員報酬等)	487	472	0.1	0.1	▲ 3.1
医業利益	▲ 10,174	▲ 50,775	▲ 2.5	▲ 13.8	—

許可病床1床当たり金額

(千円)

	3~5月平均		
	2019年	2020年	増減
医業収入	1,648	1,477	▲ 171
(再掲)入院診療収入	1,240	1,125	▲ 115
介護収入	3	3	0
医業・介護費用	1,692	1,685	▲ 7
医業利益	▲ 41	▲ 205	▲ 164

1

2

(再掲)療養病床60%以上の病院

有効回答数	8
許可病床数	136.4

1施設当たり

	3~5月平均				
	金額(千円)		構成比(%)		対前年 比(%)
	2019年	2020年	2019年	2020年	
医業収入	86,903	79,450	90.2	85.1	▲ 8.6
入院診療収入	77,040	70,845	79.9	75.9	▲ 8.0
室料差額収入	869	899	0.9	1.0	3.4
外来診療収入	5,406	4,768	5.6	5.1	▲ 11.8
健診・人間ドック等収入	2,224	1,777	2.3	1.9	▲ 20.1
その他の医業収入	1,491	1,310	1.5	1.4	▲ 12.2
小計	87,030	79,598	90.3	85.3	▲ 8.5
保険等査定増減	▲ 128	▲ 148	▲ 0.1	▲ 0.2	15.9
介護収入	9,471	13,904	9.8	14.9	46.8
医業・介護費用	92,271	93,298	95.7	99.9	1.1
給与費	61,650	63,496	64.0	68.0	3.0
材料費	7,090	6,616	7.4	7.1	▲ 6.7
委託費	8,656	8,444	9.0	9.0	▲ 2.4
減価償却費	3,037	3,164	3.2	3.4	4.2
その他経費	11,659	11,387	12.1	12.2	▲ 2.3
本部費配賦額(役員報酬等)	180	190	0.2	0.2	5.1
医業利益	4,102	56	4.3	0.1	—

許可病床1床当たり金額

(千円)

	3~5月平均		
	2019年	2020年	増減
医業収入	637	583	▲ 55
(再掲)入院診療収入	565	519	▲ 45
介護収入	69	102	33
医業・介護費用	677	684	8
医業利益	30	0	▲ 30

1

2